

# 審議 1. 第 2 3 期委員会活動報告 (2020.10~2021.9) (案)

## 1. 総務委員会

委員長 中辻 剛

1. コロナ禍での総会の開催方策について検討、2月20日にweb参加による総会を開催した。
2. 役員改選に際して、webによる選挙方法について検討整理、実施した。
3. 総会及び理事会の議決方法、名誉会員のあり方に関して、学会会則及び運営規程の改正作業を行った。
4. 上の3のほか学会会則等規定類の点検整理を行い、改正案を理事会・総会へ提案した。

## 2. 企画委員会

委員長 須見 徹太郎

1. 企画委員会の開催  
8月まで計8回開催
  - ・第9回 2020.10.7、第10回 2021.1.12、第11回 2021.2.22、第12回：2021.4.23、第13回 2021.5.27、第14回：2021.6.23、第15回：2021.7.30、第16回 2021.8.31
2. 勉強会・シンポジウムの開催  
以下の勉強会を開催
  - ・2020.10.24 第36回「2020年7月豪雨・台風10号その時メディアは…」
  - ・2021.4.11 第37回「高潮災害対応の現状と課題  
～災害対策基本法から60年の今～」
  - ・2021.7.17 第38回「2020年7月豪雨 球磨川水害の実態と課題」
3. その他
  - ・2021.01.14 防災学術連携体の東日本大震災十周年シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから」に関谷委員が「原子力災害研究と東日本大震災・原子力災害伝承館の今後の取り組み—東日本大震災と原子力災害の伝承—」を発表
  - ・2021.02.26 防災学術連携体の一般社団法人化
  - ・災害情報システム研究会発足(予定)

## 3. 予算委員会

委員長 岩田 孝仁

1. 第23期前期 中間決算資料作成  
経理処理・経理台帳を点検・精査し、中間決算書を作成
2. 第23期後期 決算書及び第24期予算書の作成(添付資料参照)  
経理処理・経理台帳を点検・精査し、決算書及び財産目録を作成  
各委員会及び事務局の活動計画を確認し、第24期予算書を作成

## 4. 広報委員会

委員長 福島 隆史

### 1. ニュースレターの発行

各地で新たに起きる災害の災害情報に関係する課題を取りあげ、また新たな施策・技術開発等に留意しながら、引き続き時宜にかなうニュースレターの発行に努める。また、予算の範囲内で各都道府県・政令指定都市にニュースレターを送付し、学会PRに努める。

\*83号(2020.11)、84号(2021.01)、85号(2021.04) 86号(2021.07) 発行

### 2. ホームページの随時更新

事務局と広報委員の協力を得て、引き続き学会行事等をいち早く案内し、結果報告を速やかに行う等、ホームページを通じて学会活動の発信を行う。

### 3. 広報委員会の新たな活動について

学会の広報について、ニュースレター以外での情報発信について検討を開始。引き続き来季も検討を進める。

### 4. ニュースレター執筆者（おもに非会員）への謝礼について検討する。

## 5. 学会誌編集委員会

委員長 金井 昌信

### 1. 「災害情報 No. 19-1(電子版)」編集作業

- ・2020年6月末投稿締切（13編投稿）、7編掲載、1編次号送り
- ・2021年5月21日、学会ホームページにて公開

### 2. 「災害情報 No. 19-2(電子版)」編集作業

- ・2020年12月15日投稿締切（10編投稿）、6編掲載（うち1編は前号からの持越）
- ・2021年7月30日、学会ホームページにて公開

### 3. 「災害情報 No. 19(冊子)」編集作業

- ・2021年8月、学会員に送付

### 4. 「災害情報 No. 20-1(電子版)」編集作業

- ・2021年6月末投稿締切（17編投稿、うち1編取下）、査読作業中
- ・特集「若手研究発表会での優秀発表論文（仮）」、「災害情報とアクションリサーチ（仮）」

### 5. その他

- ・20周年記念事業の一環として、学会誌 No. 1～17 に掲載された論文の電子化し、2021年4月からJ-stageにて公開開始
- ・2021年8月、投稿規定およびフォーマットを一部変更

## 6. 廣井賞等表彰審査委員会

委員長 矢守 克也

1. 第22期（2020年度）廣井賞を選考した。また、コロナ禍により延期していた授賞式

及び受賞記念講演会を、2021年11月20日に開催予定の総会に引き続いてオンラインで実施することを決定した。

2. 2021年度の廣井賞の公募および選考を行い、社会的功績分野1件について表彰することになった。授賞式及び受賞記念講演会は、2021年11月20日に開催予定の総会に引き続いてオンラインで実施することを決定した。
3. なお、学術的功績分野及び特別功績分野については推薦も該当もなかった。今後、より積極的な推薦を促すために、推薦対象や推薦方式を一部変更することにした。
4. 第23回大会（2021年度大会）もオンライン開催となったため、第22回大会同様に、阿部賞・河田賞の選考・表彰は実施しないこととなった。

## 7. 学会大会委員会

委員長 関谷 直也

1. 第22回学会大会（ハイブリッド）
  - ・2020年11月28日（土）・29日（日）小林秀行（明治大学）実行委員長
  - ・参加費無料。原則、書面開催（希望者はオンライン発表）
  - ・シンポジウムのみハイブリッド。ポスター発表、審査・表彰なし。
2. 若手研究発表大会特別大会（フルオンライン、春大会試行大会）
  - ・2021年4月24日（土）廣井悠（東京大学）実行委員長
  - ・参加費無料。オンライン発表。審査・表彰を実施した。
3. そのほか
  - ・第23回学会大会の企画および募集開始。